



科研費 公開ワークショップ@駒澤大学

## 革命前後のロシア文学

2019年2月16日(土)午後2:00~5:30

駒澤大学(駒沢キャンパス) 種月館9階 3-912 教場

科研費 公開ワークショップ@駒澤大学

# 革命前後のロシア文学



駒澤大学でロシア語の教鞭をとるロシア文学研究者たちが、研究への思いをざっくばらんに語ります。科研費研究を今般終了する者の報告を糸口に、特別に依頼する関連分野の講演2つ、さらに全体討論により、銀の時代からロシア革命にいたる激動の時代を熱く生きた詩人や作家について理解を深めようという催しです。

- ◆専門的関心をお持ちの方であれば、どなたでも参加いただけます（内容は主に研究者向けですが、研究組織に所属しない一般の方も参加いただけます）。大学院生など若手研究者の参加も大いに歓迎いたします。主な使用言語は日本語（ロシア語も使用）。
- ◆入場無料。懇親会（自由参加）は実費負担。いずれも事前予約不要。途中入退場自由。

## 科研費成果報告

ホダセヴィチの国外アーカイブ …………… 三好俊介(駒澤大学准教授)

### 講演1 (作家とアーカイブ)

オレーシャのアーカイブ研究の現状と課題…………… 古宮路子  
(駒澤大学非常勤講師、日本学術振興会特別研究員)

### 講演2 (作家と亡命)

ベルリン時代のアンドレイ・ベールイ：自伝／回想／叙事詩  
…………… 松本隆志(駒澤大学非常勤講師)

## 全体討論

革命前後のロシア文学を研究して …………… 古宮、松本、三好

**日時：2019年2月16日(土)午後2:00～5:30**

午後1:20開場。終了後に駒沢近辺で懇親会を予定しております。

**場所：駒澤大学(駒沢キャンパス)**

**種月館(しゅげつかん)9階 3-912 教場**

アクセス 東急田園都市線「駒沢大学」駅 徒歩10分ほど(詳しくは次頁を参照)

主催：科研費基盤C「パリ亡命ロシア文壇の言説空間に関する研究：『亡命文学』概念の生成現場として」

問合せ先(総合教育研究部 三好)

344shuns◆komazawa-u.ac.jp (◆を@に変えてください)

## 会場ご案内 ◆案内板等の設置はいたしません◆

### 東急 田園都市線「駒沢大学」駅からのアクセス

(正門まで徒歩約 10 分+正門から教場まで約 5 分)

- (1) 地下駅ですので、改札を出てから「駒沢公園口」と表示のある地下道を進み、地上に向かいます。エレベーターを使わず歩いてゆくと地上に出る直前に、階段が二手に分かれます。右手の階段（表示板「駒澤大学・駒沢公園西口方面」）を昇ります。
- (2) 地上に出ると、目の前に国道 246 号線（首都高速の高架下）があります。国道を見て左手の方向に、国道（左側）に沿って進みます。すぐに定食チェーン「松屋」があり、さらにガソリンスタンドを過ぎると、壁に「駒澤大学 大学会館 246」の銘のある茶色のビルがあります。このビルはサテライトビルで、キャンパスではありません（ここで左折する北門行き近道もありますが、授業期間外のため使用できません。正門以外の門は全て閉鎖中です。また、住宅地の路地への不要な立入は遠慮することとなっておりますので、ご協力をお願いいたします）。国道 246 号線をそのまま、さらに数分ほど直進します。
- (3) 信号機に「駒沢」とある交差点（角のビルに「駒澤大学」の巨大な案内文字あり）に着きます。横断歩道を渡らずに交差点を左折し（ここで首都高の高架とはお別れ）、しばらく歩くと左手に大学の正門があります（駒沢公園の入口まで行くと行きすぎです）。
- (4) 正門からそのままお入りください。守衛所への声掛けは不要です（大学構内では適宜、防犯のための巡回が行われています。ご用件について守衛から質問を受けられた場合は、お手数ですがご対応ください）。
- (5) 正面の、ピンクの縦筋のある白いビルが本部棟です。その右隣のキャンパス最大のビル（白い低層 4 階+茶色の高層 9 階）が「種月館」（しゅげつかん。別名は 3 号館）。会場は「種月館」高層エリアの最上階 9 階です。
- (6) この先、会場へはいくつか経路がありますが、たとえば、本部棟のすぐ前を右に折れ、種月館を見ながら、ゆるい坂道を下ってください。種月館 1 階のコンビニのすぐ向こうの自動ドアから種月館の高層エリア方面に入館し、入ってすぐのエスカレーターで 9 階まで昇ってください（エレベーターも自動ドアを入れて右手奥にございます）。
- (7) 会場の 3-912 教場は 9 階の角部屋（正門側の端）です。廊下を挟んで向かい（3-908）に、休憩用控室を準備しております。

## 最寄り駅： 東急「田園都市線」、「駒沢大学」駅

「渋谷」駅から二子玉川・中央林間方面で3駅目。

- ◆各駅停車が準急をご利用ください（急行は停まりません）。
- ◆東急「田園都市線」は東京メトロ「半蔵門線」（渋谷以東）と直通運転です。
- ◆JR 南武線からおいでになる場合は JR「武蔵溝ノ口」駅で東急「溝の口」駅に乗り換え（徒歩2分）、田園都市線をご利用ください（渋谷・押上・久喜・南栗橋方面で6駅目）。同じホームの大井町線とお乗り間違えないようご注意ください。

## そのほかご案内

- ◆「革命前後のロシア文学」と銘打ってはおりますが、ロシア語アーカイブ探索（古宮氏はロシアの文書館での探索経験が豊富です）や、象徴派を含む「銀の時代」（松本氏はこの分野を長く研究されています）に興味をお持ちの方のご来場も、歓迎いたします。
- ◆駐車場、駐輪場のご用意はありません。公共交通機関をご利用ください。
- ◆お茶や飲料水、お菓子は控室にございます。
- ◆コンビニは学内（種月館1階）にありますが、授業期間外のため16時までの短縮営業です（なお、学食は当日休業）。学外のコンビニは「駒沢大学」駅からの経路上にいくつかありますが、大学から至近なのは「駒沢」交差点です。
- ◆当日の緊急のお問合せは、三好のメールアドレス（2頁目に記載）にお願いします。

## セットプラン「駒沢の休日」♪

午前中もふくめ学究の一日をアクティブに楽しみたい貴方のために、厳選プランをご用意しました（各自でお楽しみください）。

### ◆禅文化コース♪

**耕雲館**：駒澤大学は、安土桃山時代（1592）に江戸駿河台の曹洞宗吉祥寺境内に設置された学林（後に「旃檀林：せんだんりん」と命名）を発祥とする総合大学です。会場の種月館（禅のことば「耕雲種月：雲を耕し、月に種まく」から）の隣には、レンガ造りの「耕雲館」（禅文化歴史博物館）があり、東京都歴史的建造物に指定されております。博物館は一

## ロシア文学ワークショップご案内

般公開（入場無料）で、当日は幸運にも第三土曜日のため、ワークショップ開始前は開館しております。

### ◆健康コース♪

**駒沢公園**：キャンパスの隣は広大な駒沢公園（都立駒沢オリンピック公園）ですが、大学から直接の出入りはできません。大学の正門を出ますと、左手すぐに公園入口（西口）がございます。かつては東京五輪（中止）のメイン会場予定地で、東京五輪（戦後）のサブ会場でしたが、今度の五輪では施設が基準を満たさないため使われません。入園は無料。新緑の季節は散策者でにぎわいますが、冬の散策も詩情豊かかと存じます。ジョギングコースあり。サイクリングコースもありますが、現時点では大人用自転車の貸出は二人乗り（有料）のみとなっております。公園西口の内外には、喫茶店やレストランが多数ございます。

### ◆ファミリーコース♪

**桜新町**：田園都市線で「駒沢大学」の一駅隣「桜新町」（さくらしんまち）駅の界限は、サザエさん磯野家のモデルとなった街区で、昭和の雰囲気がほのかに残ります。ほのぼのとして明るい街並みは皆様の心をきつと癒してくれることでしょう。磯野家メンバーの銅像あり。大学からは徒歩15分ほどですが経路が少々複雑なので、初めておいでになる場合は電車やタクシーの利用をお勧めいたします。

（注）これらの「プラン」は会場周辺施設のご紹介です。当日のご案内はありませんので、開会前に各自でお楽しみください。

# 駒 澤 大 学



# ロシア語教室